



自然が豊富なことを、「みどり豊かな...」と表現することがあります。この「みどり」とは、ずばり、葉っぱの緑色。葉っぱは、自然を代表する存在であり、その緑色は、私たちにやすらぎや清涼感を与えてくれる大切な色です。でも、中には秋が深まると、黄色や赤へと鮮やかに変貌する葉もあります。そんな移りかわりのようすを目の当たりにできるこの季節、葉っぱの色にちょっと目を向けてみましょう。

葉っぱの色、いろいろ

トウカエデ カエデ科
中国原産の園芸樹ですが、さすがはモミジのなかま。木全体が燃えるような紅葉を見せてくれます。公園などに植えられています。

ハナミズキ ミズキ科
北米原産で、街路樹や公園樹としてよく植えられています。渋めの紅葉ですが、真っ赤な実がポイントをそえています。

ツタ(ナツツタ) ブドウ科
市内の自生種の中では、おそらく最も美しい紅葉を見せてくれる、つる性の植物です。明るい雑木林の中によく見られます。混同しやすいウコギ科のキツタは常緑樹なので、このような紅葉は見られません。

身近な紅葉ベスト5

ケヤキ ニレ科
おなじみ、相模原市の木は、明るくさわやかな黄葉を見せてくれます。街路樹としてもよく植えられています。段丘崖の上部に自生するものの方がより美しく黄葉します。

イチョウ イチョウ科
学校などに植えられている大木の黄葉は、黄色というより黄金色。地面に落ちてもしばらくは色を失わず、晩秋の風景を明るく彩ってくれます。

コナラ(落葉樹)の葉

アオキ(常緑樹)の葉

葉っぱの緑は何の色?

植物は、水と二酸化炭素を原料に、太陽の光エネルギーを使って有機物を合成する(光合成)をしています。ここでつくられる糖分などの有機物は、地球上のすべての生命の源と言えます。私たちの生存に不可欠な酸素も、この光合成の副産物です。そして、光エネルギーを吸収し、光合成を推進するエネルギーに変換しているのが、クロロフィルなど緑色の光合成色素です。葉っぱが緑色なのは、これらの色素を含む葉緑素という組織が、葉の細胞中にたくさん詰まっているためです。

太陽エネルギー
二酸化炭素 (CO₂)
水 (H₂O)
酸素 (O₂)
有機物 (糖分など)

紅葉はリサイクルの証?

落葉樹や草の葉は、秋も深まると黄色や赤に変化し、美しい紅葉を見せてくれます。これは、光合成色素が分解されて、春に展開する新芽や根に養分として送り込まれるため、緑色の色素が抜け、緑色色素が分解の遅い黄色の色素が残り、さらに、余った糖分から赤色色素がつけられることによって生じる現象です。冬の低温は光合成の効率が下がるため、生産工場を閉鎖して、残った設備や機器を分解して原料にし、再稼働に備える、というリサイクルシステムなのです。

そしていよいよ役割を終えた葉は、パイプラインである葉柄(葉と枝をつなぐ軸)の付け根に「離層」というシャッターが下り、切り離されて「落葉」となります。これらの落葉もまた、分解されて土にかえり、植物の養分として利用されるのです。



オータムフェア'03

市立相模原麻溝公園
10/12 sun · 13 mon
 イベント・スケジュール

- オータムコンサート** 12日(日)ふれあいドーム
相模原音楽家連盟による金管楽器と打楽器のコンサートです。
午後1:30~2:00と午後2:30~3:00の2回
- アートコーナー** 12日(日)・13日(月)水の広場
石ころや小枝、折り紙を使ったアート作品づくりのコーナーです。午前10:00~午後3:30
- 園芸豆鑑「宿根草」の配布** 12日(日)・13日(月)管理事務所
毎年お庭を彩る宿根草。とくに相模原の気候にあった種類を集め、ガーデニングの参考にしていただけたらという思いでつくりました。希望者の方にお分けしています。
午前10:00~
- 竹トンボ講習会** 12日(日)・13日(月)センター広場
竹トンボの名人たちの協力による竹トンボ作り体験コーナーです。
午前10:00~午後3:30
- 森の木と遊ぼう** 12日(日)・13日(月)センター広場
森林ボランティアの人達が作業で伐採した木材を使った木工品づくり。
午前10:00~午後3:30
- 秋の公園スケッチ会・展示会** 12日(日) 雨天中止(受付)センター広場
芸術の秋。あなたもスケッチブックを片手に公園の小さな秋を探してみませんか?
午前10:00~子供の部(小学生以下先着100名)と一般の部(中学生以上先着50名)
*子供の部参加者には、クレヨン、画用紙を贈呈
*一般の部参加者は画材を持参
《作品展示》管理事務所ホール
*子供の部 10月15日(水)から31日(金)まで
*一般の部 11月1日(土)から30日(日)まで
- 陶器・木工製品等の展示・即売** 12日(日)・13日(月)水の広場
相模原市障害者地域作業所等連絡協議会が市内各所の地域作業所で作っている製品の展示・即売コーナーです。 午前10:00~午後3:30
- 木工細工コーナー** 12日(日)・13日(月)センター広場
相模原造園協同組合による輪切りした剪定枝を利用するコースターや壁掛け等の作品づくりのコーナーです。 午前10:00~午後3:30
- 花・植木・野菜類などの展示・即売** 12日(日)・13日(月)センター広場・リリちゃん橋
相模原市緑化木生産組合、相模原造園協同組合、相模原市農協麻溝支店による花、植木、野菜類などの展示・即売コーナーです。 午前10:00~午後3:30
- みどりの少年団コーナー** 13日(月)センター広場
凧作りや木の実などを使った木工品作りのコーナーです。 午前10:00~午後3:30
- 有機肥料の配布** 12日(日)・13日(月)リリちゃん橋
三菱商事による有機肥料を希望者の方にお分けしています。
午前10:00~と午後2:30~の2回
- 秋の動物フェスティバル** 13日(月)ふれあい動物広場
ポニーの無料乗馬、人形劇、モルモットレール、てい鉄投げ、動物ペンダントづくりなど楽しいコーナーいっぱいのお祭り先同時開催です。 午前9:30~午後3:30

オータムフェア 特別講演会 クリスマスローズの魅力

1月から3月に次々と花を咲かせるクリスマスローズ(キンポウゲ科・ヘレボルス属)。「冬の貴婦人」と呼ばれるその魅力を紹介します。

日時 平成15年10月13日(月)午後1時~3時
 会場 相模原麻溝公園管理事務所1階多目的室
 講師 HELLEBORUS倶楽部
 対象 相模原市内在住・在勤の方
 費用 無料
 定員 30名(応募者多数の場合は抽選により決定)
 募集 往復はがきに氏名・住所・電話番号・年齢を記入のうえ10月6日(月)までに(消印有効)申し込み。
 「宛先:〒228-0828 相模原市麻溝台2317-1 (財)相模原市みどりの協会 オータムフェア講演会係」

同時開催 10/12 sun 市立相模原公園 **「2003 相模原公園秋祭り」**
 情報 オープンミュージアム 麻溝公園みどりの広場10/12・13
「My Happiness!」相模原青年会議所主催

ご注意 当日は会場周辺の混雑が予想されます。バスなどの交通機関をご利用ください。
 *JR相模原駅から相武台前駅行きバス「総合体育館前」下車
 *小田急相模大野駅から女子美術大学行きバス「総合体育館前」下車

* 初心者のための植物画教室

初心者の方を対象とした、鉛筆による植物のデッサン教室です。植物画の基礎を習得しながら、植物そのものの魅力も再発見してください。

日時 11月5日(水)から12月3日(水)までの毎週水曜日・各午前10時~12時で全5回
 会場 相模原麻溝公園内ふれあい動物広場管理事務所2Fレクチャールーム
 講師 勝治 誠氏(日本植物画倶楽部所属)
 対象 相模原市内在住の方で1回~5回まで全て参加できる人
 費用 1,000円(材料費)
 定員 20名(応募者多数の場合は抽選により決定)
 募集 往復はがきに住所、氏名、電話番号、年齢を記入のうえ10月15日(水)までに(消印有効)申し込み。
 宛先:〒228-0828 相模原市麻溝台2317-1 (財)相模原市みどりの協会 植物画教室係

子どもたちの歓声が聞こえてくる森にしたいから。



地表に陽を当てて、明るい森にするための間伐作業。

木もれびの森を守る 森林ボランティア

木もれびの森は大野台・大沼地区周辺に広がる約73ヘクタールの雑木林のこと。相模原近郊緑地特別保全地区に指定されており、土地所有者の協力により市が維持管理を行っています。中には芝生広場や散策路が整備された相模原中央緑地と呼ばれるエリアがあり、市民の憩いの場となっています。しかし広大なため管理が大変で、隅々まで管理が行き届かないのも現状。そこで市が検討会を設け、木もれびの森を保全・活用していく計画を立てました。また森林ボランティアは木もれびの森を中心とした森林の保全・活用を目的として開催された講座で、木もれびの森の歴史や現状を学び、伐採や下草刈りなどの実際の作業を経て、受講生の中から61名が会員登録する団体が誕生しました。今回は相談役(4名)として会員をまとめる高橋孝子さんと川又昭子さんにお話をうかがいました。



「森林ボランティア」のみなさん(一部)

四季の移ろいととも表情を変える森

何十年も木もれびの森の近くに住み、森が生活の一部のように大切なものになっています。朝、目覚めて窓を開けると、森が作ってくれのおいしい空気が流れ込んで、気分がすっきりするんです。毎日森林浴をしているようなもので、とても贅沢な気持ちです。また、四季の移ろいととも森の色が変わり、本当に美しいです。同じみどり色でも季節によって微妙に色が変わるんです。芽吹きはじめ頃のみどり、若葉のみどり、濃いみどり。そして秋には紅葉、黄葉と色を変え、冬枯れの森もとても風情がありますし、雪景色は幻想的でまた格別な趣があります。

昔は野つさぎも住んでいたんです

元々木もれびの森は、薪や炭を作るためのいわゆる薪炭林(しんたんりん)でしたから、クヌギやコナラなどの木を定期的に伐採してました。常に人の手で管理されていたので森も息づいていたのですが、都市化やエネルギー資源の変化などから薪炭林としての利用価値が減っていったんです。その結果、木々が伸びて高木化し、生い茂る葉によって光が遮られてしまうことから、うつうつとした暗い感じのする森になってしまったんです。

昔は森の中から、木のほりをしたり鬼ごっこをする子どもたちの歓声が聞こえ、落ち葉を集めて焼き芋もしました。30年前には野つさぎなどの小動物もいて、森に命があふれていたように感じます。それが次第に子どもたちの声が聞こえなくなり、小動物たちもいなくなりました。大好きな森が元気をなくしていく姿を見ていてもたってもいられなくなりました。そんな時、森林ボランティアの話を聞き、自分ができることならお手伝いしたいと応募しました。

木もれびの森は一部私有地もありますがほとんどが私有地。これを市が無償で借り上げて、行政と市民が協力して保全・管理をしているわけですが、73ヘクタールと広大なためなかなか作業も大変です。森に対する考え方も人それぞれで、公園にして多くの人に開放したい、犬を遊ばせるドッグランにしたい、散策路をつくりたいなどなど。でも貴重な森を次世代に残していきたいという点ではみな一致しています。

伐採した木は杭やしいたけの原木に

61名の森林ボランティアのうち、18名が女性43名が男性です。月に2回の活動には平均して20名ほどが集まります。そして市やみどりの協会とともに立てた年間計画に基づいて勉強会や伐採、下草刈りなどの作業を行います。伐採した木も杭やチップにするなど有効活用しています。また、子どもたちにも木もれびの森を知ってもらい、その中で楽しさを見つけてもらおうと、相模原麻溝公園や公民館で木工細工やしいたけの原木づくりなども行っています。今年度はジュニアボランティアの手伝いもしています。

森林ボランティアの活動は今年で丸2年になりました。少しずつですが、効果も出始め、キノコやシラン、フデリンドウなどの山野草が可愛い花を咲かせてくれるようになったところもあります。伐採したことで太陽の光が差し込み、今まで眠っていた花が目を見ました。たまたま、これを根こそぎ持っていくてしまつ人がいるんです。本当に残念なことです。番号札をつけて植生調査をしております。是非協力をお願いしたいと思っています。

うれしいのは作業中に近所の人が掛ける、森がきれいになってうれしいとか、森を管理してくれるのがあるがたいといった声。やはり自分たちの森という意識があるんです。こういってでも重要ですし、ぜひ森林ボランティアの活動にも参加してほしい。木もれびの森を大切に思う住民はもちろん、保全・管理に関わっているほかの団体とも連携しながらこの貴重な木もれびの森を子や孫の代に良好なまま残していきたいですね。

みどりのバンク情報コーナー

広げよう花とみどりのネットワーク

(財)相模原すみどりの協会では、相模原麻溝公園、相模大野中央公園及び相模原北公園の各管理事務所に「花とみどりのインフォメーションボード」を設置し、みどりのバンク情報コーナーを設けています。樹木や草花、種、苗などを無償で譲りたい方、無償で譲り受けたい方の相互の情報を提供し、花とみどりのネットワークづくりを図っています。

樹木や草花、種、株分け苗などの「みどり」を譲りたい方、譲り受けを希望する方は(財)相模原すみどりの協会までお問い合わせください。

* 花のまちづくり運動

(財)相模原すみどりの協会では、自治会、老人クラブ、子ども会、幼稚園、保育園などの団体・グループが、地域の公園、自治会集会所周辺、緑道などの場所に植える場合、球根や花の苗などを配付し、花のまちづくりを進めています。みなさんの手で身近な花やみどりをもっと増やしてみませんか。詳しくは(財)相模原すみどりの協会までお問い合わせください。

* 生垣設置助成事業 新しく「生垣」をつくる場合、助成をします。

(財)相模原すみどりの協会では、新規に生垣を設置される方に奨励金を交付しています。この機会に自宅の塀やフェンスを生垣にしてみませんか。

基準	樹木の種類は生垣に適したもので、原則としてみどりの協会が推奨するものとします。また、樹木の高さは90センチ以上で、本数は1メートルあたり3本以上です。
金額	1メートルあたり5000円で、10万円を限度額とします。ただし、共同住宅についてはお問い合わせください。
手続き	みどりの協会、市役所みどり対策課などに置いてある申請書に記入して、みどりの協会へ。案内書も同所にあります。

次のすべてに該当すること。
市内の戸建て住宅(店舗併用住宅も可)、共同住宅の用地内に新たに生垣を設置すること。
その土地が幅4メートル以上の公道に接していること。
生垣の長さが3メートル以上であること。
市民税を完納していること。

ご注意
新たに生垣を設置する場合が対象で、植え替えは対象となりません。
奨励金を受けるには事前に申請をし、交付決定を受けなければなりません。
生垣設置後は良好に管理しましょう。
お問い合わせ
(財)相模原すみどりの協会 TEL042-777-2860

恒例・緑化センター設立25周年記念 実りの秋まつり

10/11(土)・12(日)・13(月)

資材関係 全10%引き!

用土・肥料・薬品・プランター類などの園芸資材用品
その他、植木・草花類もお買い得がいっぱいです。

期間中、先着順での粗品プレゼントや他商品の割引セールなど、お客様にご満足いただけるサービスも実施いたしております。

花と緑のデパート 相模原市 緑化センター

〒229-1124 相模原市田名10,507
TEL042(778)3288

緑豊かな暮らしのお手伝い

緑はわたしたちの暮らしの中で、水や空気と同様にかけがえのないものになっています。相模原造園協同組合は、蓄積されたプロの技術と知恵で、暮らしのなかの大切な緑を、造り、育み、リサイクルする、循環型の造園を目指しています。

お庭のお手入れや緑化工事をお考えになったらぜひ、お電話ください。ご相談内容に合わせた的確な業者をご紹介します。

相模原造園協同組合

TEL042-773-8977
理事長 志村 好美 〒229-1116 相模原市清新4-10-9

観葉植物のリース・造園・土木・緑の設計

神奈川県知事許可(特-13)第20651号

株式会社 井上農園

〒229-0015 相模原市下溝1803 代表取締役 井上正之
TEL042(778)1803 FAX042(778)4113

地域の皆様に貢献できる。 相武ガーデン

花と緑の散歩道

〒229-0037 相模原市相模原7-1-27
(さがみ夢大通り沿い) TEL042-755-8885

広告募集 財団法人相模原すみどりの協会では機関紙「さがみはら・グリーン」に掲載する広告を募集しています。機関紙は年2回4月と10月に市内全戸(約22万所帯)へ新聞折り込みにより発行しています。この機会にぜひ会社やお店のPRをされてはいかがでしょうか。規格・料金につきましては、みどりの協会事務局広告担当TEL042-777-2860までお問い合わせください。

GREENの 本紙は、財団法人相模原すみどりの協会が実施する、緑化事業の紹介や都市緑化に関する情報などを掲載する機関紙「さがみはら・グリーン」です。春(4月)と秋(10月)の2回発行しています。本紙に対するご感想、ご意見をぜひお寄せください。ご感想は...宛先は、八ガキまたは封書〒228-0828 相模原市麻溝台2-317番地の1 市立相模原麻溝公園内 財団法人相模原すみどりの協会、E-mail:info@sagamihara-green.or.jpです。また、ホームページ http://www.sagamihara-green.or.jp/にもぜひアクセスを...